

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を紹介しています。今回は自然環境に恵まれた緑豊かな神戸市西区伊川谷町で、がんばっている農家さんをご紹介します。

◆伊川谷町は西区の南部に位置し、明石川水系の伊川沿いに広がる、東西約 10km にわたる大きなまちです。近郊農業が盛んで、キクナやホウレンソウなどの軟弱野菜やストック、トルコギキョウ、花壇苗といった花などの栽培が行われている一方、南部では区画整理事業などにより宅地化が進み、この 30 年で人口が急増している地域です。

がんばる農業者 そん 孫 いりょう 伊亮 さん

そん いりょう 孫 伊亮さんは令和 3 年 2 月より新規就農者として神戸市西区伊川谷町小寺で農業を本格的に始めました。

農業をめざした動機・きっかけ、良かったこと・苦労したこと、これからの思い等をお聞きいたしました。

◆農作物を作るのが好きで、最初は夫と貸し農園でサツマイモやおくら、ネギを作っていました。夫の菜園を手伝い、農業の楽しさ・やりがいを感じていく中、農業は自分に向いているなど感じ、いつか自分の農園を持ちたいと思うようになったのがきっかけです。

◆良かったことは、やりたい事を試せること。野菜やいちじくを美味しいと言って貰えると嬉しいです。

◆就農地の圃場が、20 年間耕作されておらず、荒れ果てていて復旧が大変でした。研修場の圃場とは土も水はけも違うので、管理に慣れるまで苦労しました。

◆頑張ったことは、中古のビニールハウスを 2 棟建設したこと。自分でトラックを用意して、手伝いなしで、ビニール、金具等を自分で運びました。バックホウを使って、ハウス周りの明渠も自分で掘り直し、排水対策も行いました。

◆これからも、放棄地の再生に力を注ぎ、堆肥で土づくりを続け、安全で安心できる美味しい野菜作りを目指していきたいです。

農業は技術だけでなく、体も大切ですので、作業姿勢も注意して、長く農業を続けられるように頑張っていきます。

